

第 28 回 中部大学テクノフェイスフォーラム

IT や AI が急速に発達する中、これら技術の製造現場への応用として今何が考えられるのか。今回は「スマート工場の実現に向けて」をテーマに最新の話題を提供いたします。

日 時：2024 年 12 月 20 日(金)13:30～17:00(13:00 受付開始)

講演会場：中部大学 521 講義室(新 5 号館 2 階)

次 第

13:30～13:35 開会挨拶 中部大学理事長・学長 竹内 芳美

13:35～14:35 講演(1)「大規模基盤モデルによる第 4 次 AI ブームの到来」

藤吉 弘亘 氏 中部大学 理工学部 AI ロボティクス学科 教授

概要: ChatGPT に代表される生成 AI の登場により、第 4 次 AI ブームが到来しました。生成 AI は膨大なテキストデータを基に学習し、対話や言語翻訳等において高い性能を発揮します。本講演では、これらの技術について解説し、どのように活用していくのかを議論します。

14:35～15:35 講演(2)「ものづくりサービスに向けたオークマ スマートファクトリーの取組み」

一木 洋介 氏 オークマ株式会社 製造本部 生産技術部 部長

概要: 工作機械製造では多種多様な顧客要求への対応にマスカスタマイゼーションの実現が求められ、オークマでは自動化システムや工場の制御周期の高速化による生産の全体最適に取り組んでいます。「ものづくりサービス」の提供技術として、自動化システムの安定稼働、自社製スマートマシン・知能化技術の活用、および SDGs の取組みを紹介します。

15:35～15:45 休 憩

15:45～16:45 講演(3)「振動データを利用した AI による機械の状態判定」

谷津 祐哉 氏 ヤマザキマザック株式会社

FA ソリューション本部 加工技術開発センタ 3グループ

概要: 人手不足が社会問題となる昨今、保全の自動化・効率化にも関心が高まっています。現在、弊社で取り組んでいる機械稼働時の振動データを用いて、機械の劣化や調整状態を判定する取り組みについて紹介します。

16:45～16:55 全体討論およびまとめ

16:55～17:00 閉会挨拶 中部大学学長顧問 水谷 秀行

17:20～18:45 技術交流会(会場:イタリアントマト・中部大学不言実行館 6 階)・参加費 3,000 円・当日徴収

申込方法: 学内外を問わずどなたでもご参加いただけますが、講演会、技術交流会ともに必ず事前登録をお願いします。

12 月 9 日(月)までに以下の URL よりお申し込みください。

<https://forms.gle/Gp3GxbaZQdrct4377>



<お問合せ先> 中部大学 工学部・理工学部事務室

Email: kogakubu@office.chubu.ac.jp 電話 0568-51-4319 内線 4023